

2026年5月15日

各 位

SBS 東芝ロジスティクス株式会社

JILS 全日本物流改善事例大会 2026 において 当社 2 拠点の改善事例を発表

SBS 東芝ロジスティクス株式会社（社長：金澤 寧、本社：東京都新宿区）は、5月12日、13日、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（以下、JILS）が主催する「全日本物流改善事例大会 2026」（於：東京コンファレンスセンター・品川（東京都港区）において、物流センターの現場改善などを対象とした改善事例を発表したことをお知らせします。



本大会では、全国の物流現場改善事例の中から選考された48の優秀事例を2日間にわたり発表しました。2018年から9回連続の発表となる当社からは、前年2月、8月に開催した社内改善大会にて最優秀賞、優秀賞を受賞した営業第4部並びに那須ロジセンターより2つの改善事例の取組みを発表しました。

営業第4部は『家電繁忙期対応（拠点分散・他社協業・パレット納品）』と題した取組みを発表。

荷主の販売拡大に対応するため、物量閑散に応じた拠点を構築。さらに海外生産拠点と連携することで、直接コンテナを仕向けた分散陸揚げを実施しました。協業他社との連携による在庫預け入れ、エアコンのパレタイズ納品により積込・荷卸し時間を140分短縮。全体物量の10%を分散し、長距離便削減と倉庫業務集中の緩和を実現しました。



営業第4部の発表

審査員から、他社との連携による在庫預け入れやパレタイズ納品など、自社だけでなく協業パートナーとの連携を構築し、物流の安定化を図るとともに荷主販売計画に貢献された点も特筆すべきとのコメントを頂きました。

那須ロジセンターは『棚搬送ロボット導入に伴う効率化推進』と題した取組みを発表。

お客様との共同施策で生産部材の外部集約化を実施。弊社自前倉庫での業務立上げと並行し、今後控えている働き手不足や人件費高騰に備え、作業の効率化・自動化を狙い『棚搬送ロボット』を導入。荷主にも働き掛けながら、依頼情報の整流化や要件設計を行った結果、作業生産性と品質の向上、作業人員の削減を実現しました。



那須ロジセンターの発表

審査員から、お客様との共同施策として生産部材の外部集約化を推進し、さらに荷主にも働きかけて依頼情報の整流化や要件設計を行うなど、サプライチェーン全体を巻き込んだ改革を実現されたとのコメントを頂きました。



営業第4部の山田 雅（中央）と大友 義規（右）



那須ロジセンターの秋元 豊（中央）と
営業第6部の東 直明（右）

当社は今後も日々の改善活動を継続的に行い、生産性の向上を図るとともに最適なソリューション提供によるロジコスト低減を目指してまいります。

以 上

■ご参考

< SBS 東芝ロジスティクス株式会社 概要 >

本社住所：東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー25 階

代 表 者：代表取締役社長 金澤 寧

設 立：1974 年 10 月 1 日

親 会 社：SBSホールディングス株式会社（持株比率 66.6%）

資 本 金：21 億 28 百万円

売 上 高：1,238 億円（2025 年 12 月期、連結）

従業員数：2,855 名（2025 年 12 月末現在、連結）

関連会社：国内 SBSロジスター(株)、丸嘉運輸倉庫(株)

海外 中国、アジア、米国、欧州各地域に 14 社

事業内容：倉庫業、貨物利用運送事業、機械器具設置工事業、とび・土工工事業、通関業
航空運送代理店業、物流コンサルティング、不動産賃貸及び管理業 他

U R L：<https://www.sbs-toshibalogistics.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

SBS 東芝ロジスティクス株式会社 人事総務部

TEL：03-6772-8201（代表）／URL：<https://www.webcoms.jp/sbstlog/contact/>

※ 当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。